

2023年度

科目名称	保育実習（施設）
授業コード	BM266
英語名称	Childcare Training 1
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	呂 暁丹（教育人間科学部）、杉本 信（教育人間科学部）、渡辺 令子（教育人間科学部）
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	ディプロマポリシーに掲げる「3．子どもに対する観察・理解力を身に付けるとともに、発達や育ちを基に指導計画を立案し、省察、改善まで行うことができる。【子ども理解・保育を实践する力】」に関する科目として、保育士としての職務や役割への理解、保育内容・援助技術を深めるため、施設(児童福祉施設等)で10日間の実習を行う。本科目は保育実習（施設）の事前指導の位置づけでこの授業を行う。卒業後の職業生活上に必要な汎用的技能を獲得するための科目でもある。
科目に関連する実務経験と授業への活用	保育士資格を有した本学教員（渡辺、元公立保育士。保育所・障害児通園施設・保育行政など管理職経験）と発達障がい専門として研究をしている教員（呂、支援センター顧問）を中心に学科教員全体で実習先における巡回指導を行う。
到達目標	カリキュラムポリシーの「6．学び得た保育の基礎知識、身に付けた技能を実際の保育現場において実践し、新たな自己課題を見出す科目（保育・教育実践に関する科目）」の目標に達するために、以下の目標を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な知識・能力・技術を実践で身につける（気づく、学ぶ、試みる）。 ・施設（児童福祉施設等）におけるニーズを理解し専門職としての判断力を培う。 ・施設（児童福祉施設等）における組織の運営や組織内外との連携などを学ぶ。
計画・内容	保育実習（施設）の目的や意義を理解し、保育士として施設での役割と職務のあり方を学ぶことにより現場基礎能力の養成を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1．「保育実習指導」事前指導を終え、必要書類作成・提出し、施設のオリエンテーションを受ける。 2．個人調書、実習計画書、実習課題、細菌検査結果などの必要書類を持参し、実習を施設で行う。 3．実習施設にて、一日の流れの理解、職員が利用者へのかかわり、日常生活のための援助技術を観察し、施設の運営について認識する。職員間のチームワークや勤務についてなどを理解し、生活援助の一部を担当し、援助技術を学ぶ。利用者の最善の利益と施設の生活の現状を学ぶ。 4．実習日誌を日々記入し、指定された時間に提出する。 5．巡回指導教員の巡回指導を受ける。 6．日誌は指導者の評価をいただき大学に提出する。 7．速やかにお礼状を書き、実習先への感謝の意を込めて送る。 <p>実習巡回指導は担当教員を中心に、外部講師および学科教員全員の協力を得て、各施設にて個別指導を行う。</p>
授業の進め方	直接、施設に行って実習を行う。 その際、実習先の指導者および巡回指導教員の指導に従う。
能動的な学びの実施	主体的能動的な態度で実習を行い、ケースやエピソードの考察・日誌記入を通して施設やご利用者の状況を深く理解することが望ましい。
授業時間外の学修	各種の施設(児童福祉施設等)で実習する。 予習：前日の実習の振り返りから翌日の課題を明確にする(20分) 復習：実習日誌の記録を作成する(40分)

2023年度

授業時間外の学修	
教科書・参考書	保育実習の手引き 実習日誌
成績評価方法と基準	実習園の評価（80%） 実習日誌の提出状況、内容等（20%）
課題等に対するフィードバック	事後指導を通して、実習の状況を確認し振り返りをする。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	保育士の資格認定の必修科目であり、保育実習 か のどちらかを履修する必要がある。 この科目は「保育実習指導（施設）」履修と連動しており、単位認定は事後指導後に行われる。 また、実習を無断で欠席したり遅刻したり早退したりした場合は、実習を中止する。やむを得ず欠席したり遅刻したり早退したりする場合は、必ず実習先、大学、巡回指導教員に事前に連絡する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	実習施設の変更、または実習を翌年度に繰り越す、更に大学で行う演習および保育所等でのボランティアにより実習を代替する。 における実施状況による総合的に評価する。